

2002年 2月17日 主日礼拝

司 会 ①山本登兄 ②関口兄 ③野口和兄

奏 楽

賛 美 聖歌479

使徒信条

主の祈り

賛 美 聖歌539(感謝しつつ主の門に)

(主イエスをほめよ)

祈 禱 ①高木師 ②多田兄 ③野田兄

聖 書 マタイ福音書5章1～12節

音 楽 ①森屋兄 ②③ゴスペルクルー

メッセージ『9重(苦汁)の祝福』 大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)

祝 禱

「喜びなさい。喜びなさい。喜びなさい。」

『喜びなさい。喜びなさい。喜びなさい。』



石の枕

かつては「人間は50歳になったら進歩が止まる」と言われたものだが、もはやそのような時代ではなくなった。

社会がものすごいスピードで流動化し、多数化している現在、人間が成長することを放棄してしまったら、時代から取り残されてしまう。「老いて学べば朽ちず」という考え方が、21世紀の初めになってより切実なものになってきた。(教会の若者よ！中高年、初老軍団に負けるなよ！)

すかいらーく最高顧問の横川氏は、50を過ぎてから俳句を始めた。「経営は、限りなく自由を求める作業でしょう。ところが俳句には、五・七・五とそれに季語という制約がある。当初は窮屈さを感じたが、考えてみれば制約があるからこそ創意工夫が生まれるのですね。制約が私にとって最大の師匠かもしれません。私は俳句という生涯目標をとことん究めていきたいと思います」。

「制約こそが私の師匠」とは名言ですね。人はそれぞれ制約の中にいるものです。若いから、ベテランだからこそ時間がない。性別、年齢、家庭環境、財力、立場etc。いろいろの制約の中でこそ、勝利を得ていく面白さがある。

以前、新聞のコラム欄にのっていたが、長時間椅子に座っている能力を「座力」というそうだ。日本にはなかった言葉とか。イスラエルでは、幼いころから、聖書の勉強などで「座力」が鍛えられる。ユダヤの人々から優れた学者や芸術家が輩出する一因かもしれない。

詩人の長田弘氏によれば、「すべては読書からはじまる。本を読むことが、読書なのではありません。自分の心のなかに失いたくない言葉の蓄え場所をつくりだすのが、読書です」。

さあ、神の言である聖書を、むさぼり読み、「The 力」をつけましょう！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:マルコ1章～5章 Bコース:レビ記24章～民数記10章

【大和ニュース】

- ・ 転入会者を心から歓迎します。①砂子田姉(青年会)
- ・ 本日後1時半から「洗礼準備会」がなされます。レインボールームにて。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、子聖、学生、青年、通訳、将困、送迎、SS教師、インターネット、ゴスペルクルーあり。ボードで時間と場所を確認してください。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！共に賛美し、共に祈り、共に学びましょう。
- ・ 聖書基礎講座は火曜朝10時半より。シャローム館にて。講師は武井先生です。
- ・ 深夜祈禱会は金曜9時～10時30分。講師はベニーヒン師。(VTR)
- ・ 家庭集会は、森の里(本日3時半)、相武台(水曜10:30)、町田小山(金曜13:15)です。お祈り下さい。
- ・ ご結婚おめでとう。我妻様と武信様。土曜14時半より。当チャペルにて。
- ・ 土曜礼拝は、夜8時～9時。倉知師が説教です。
- ・ 純福音静岡教会(富士市瀬田町五味八珍前)本日16:00。